

■(満願寺)智海 被差別部落の尼僧。転変の後、決意して道場主となり、弾圧のなか慕われ、“講場さんのいと”。

ちかい
写楽・・・1795＝ 紀伊国田辺領十九洲村で、元家の当主五郎兵衛とユミの間に、惣領娘として生まれる。通称小トヨ。

古事記伝・・・1798＝ 3歳：弟善兵衛が誕生。

1801＝ 6歳：妹イトが誕生。
一九膝栗毛始1802＝ 7歳：この年の「切支丹御改帳」八歳書上げて、“穢多共”の一人として記される。
アヲカ船来航始1803＝ 8歳：弟五平を出産した母が産後の肥立ち悪く死去、弟妹3人とともに残される。父が後妻とよを迎える。
イヅノ来航・・・1804＝ 9歳：
青洲麻酔手術1805＝10歳：講場での母ユミの三回忌の導師遊行僧に仙に村民一同とともに感銘を受ける。その後、祖父九兵衛が剃髪して在家比丘となり、30年前に建立したちぶか道場に入ると、まだまだ元気で働きたい祖母むめに代わって、祖父を助けるべく遣わされ、仏事作法見習が始まるとともに、美人ぶりが広く知られて行く。

イヅノ報復・・・1806＝11歳：妹イトが夭折。
ウツ船狼藉・・・1807＝12歳：村民に敬愛され自らにとって大樹だった祖父が死去して衝撃を受ける。

コノブニ拿捕 1811＝16歳：新家の兵五郎に嫁ぎ、

浮世床・・・1813＝18歳：長男勇吉を出産するも、
黒住教・・・1814＝19歳：元家では、4人の男子をもうけた継母とよが、2人の子に相次ぐように、死去。

伊能測量終・・・1816＝21歳：次男萬吉を出産。

水野忠成老中1818＝23歳：双子を出産するも、夭折。この年、父が迎えた3人目の妻ソノも、子の無いまま、死去。
群書類従完結1819＝24歳：九平を出産したが、
この間、すでにやもめ暮らしを決意していた父が、昵懇にしていた大坂泉州の皮革問屋池田屋に勤められて、4人目の妻美よを迎えると、その裁縫や結髪を伝えるべく、村民に呼びかけて行く。
蝦夷地直轄終1821＝26歳：夭折。生まれ代わりのように、五郎を出産。

英船浦賀来航1822＝27歳：
シボト嶋鳴滝塾1824＝29歳：待望の女兒を出産し、ゆみと名づける。

日本外史・・・1827＝32歳：この間、夫兵五郎は“しめ牛騒動”を処理するなど、村民からも信望を集め、全く元気であったが、夫兵五郎が急逝、悲嘆のどん底に突き落とされる。

この間、元家の父五郎兵衛は家督を善兵衛に譲り、隠居し文次と名乗る。

富嶽三十六景1831＝36歳：
鼠小僧磔・・・1832＝37歳：この年、長男勇吉が2代目兵五郎を襲名。

高島砲術・・・1834＝39歳：この年、長男兵五郎が結婚し、

・・・1836＝41歳：この年、長男兵五郎に長女小イロが誕生、
大塩平八郎乱1837＝42歳：父文次の古希の宴で、ちぶか道場の坊守を継ぐよう言われるも、逡巡していたところ、
適塾ウヅン・・・1838＝43歳：この年、長男兵五郎に後に満願寺開基正圓法師となる勇助が誕生。*道場に立寄った田辺善立師の話の聞いて決意、恵燈和尚のもとで、得度剃髪し、智海の名法を授けられる。蓮如宗主三百五十回忌をめざし、

勅進帳初演・・・1840＝45歳：
天保改革始・・・1841＝46歳：父文次が死去。この年布告された「えた・非人取締令」に衝撃を受け、
念仏に貫かれた自由と平等を確信もって話せるようになるまでと、まず道場を開放、
資金面では長男兵五郎に助けられ、素朴な若者善四郎に身の回りを支えられ、仏門修行にいそむうち、
天保改革終・・・1844＝49歳：本山より、蓮如宗主三百五十回忌についての通達が来た年、幸兵衛が出家得度して恵得となり、

領内の被差別部落民が訪れるようになるなか、
・・・1847＝52歳：修行を終えた恵得が戻って来、
・・・1848＝53歳：村民に感動を与えた蓮如宗主三百五十回忌を無事終えるが、信者を感乱させているという噂が広まり、
北斎没・・・1849＝54歳：*善四郎・恵得らとともに、捕縛され、田辺の牢につながれた後、領外追放となり、秘境山路郷に行く。

この間、真宗教団の執拗な掣肘があるも、山路郷内には真宗の寺院が無く自由に動けたことから、他宗全ての寺院を訪ねて修行を続ける。

ペリー来航・・・1853＝58歳：この年、兵次郎らは罪一等を減じられ、

蕃書調所・・・1857＝62歳：この年、兵次郎らは完全に復権した後、
五ヶ国条約・・・1858＝63歳：*ようやく立ち回りを赦され、

村民らの運動で、

生麦事件・・・1862＝67歳：晴れて、帰住に至る。

禁門の変・・・1864＝69歳：新家の屋敷で古希の宴が開かれた際、時宗僧力道が踊り念仏を始め、以後、没入し、村民にも広まるが、
薩摩藩士密航1865＝70歳：それが理由で、再び捕らえられ、牢につながれ、
薩長同盟・・・1866＝71歳：衰弱したため、西之谷村えた頭預けとなった後、帰住御免となる。
大政奉還・・・1867＝72歳：*道場坊守を辞めることを決意、衆議により勇助を後継者とする。

戊辰戦争終・・・1869＝74歳：勇助が僧正圓となって戻って来てまもなく、没した。